

発掘調査成果

◎石垣の一部とみられる石材を確認しました 石材の概要

- 規模 【北側石材】
幅42cm×奥行80cm×高さ40cm(全て検出長)
【西側石材】
幅60cm×奥行66cm×高さ35cm(全て検出長)
- 種類 ・砂岩(加工の痕跡が少なく自然石に近い)
- 構造 ・石垣の背面には裏込石として川原石を使用していますが、西側石材の背面には裏込石が見られません。

※西側石材は後世に動かされた可能性があります。

◎黒野城築城時の南側土塁盛土の堆積状況を確認しました

- ・Aトレンチ南端から北方向約2mに渡って、黒野城築城時の南側土塁盛土の堆積状況を確認しました。

◎見つかった遺物

- ・約20点出土しました。
- ・戦国時代末頃の瓦や近世陶器などが出土しました。



写真1
Aトレンチ北半部
(北から)



写真2
出土丸瓦

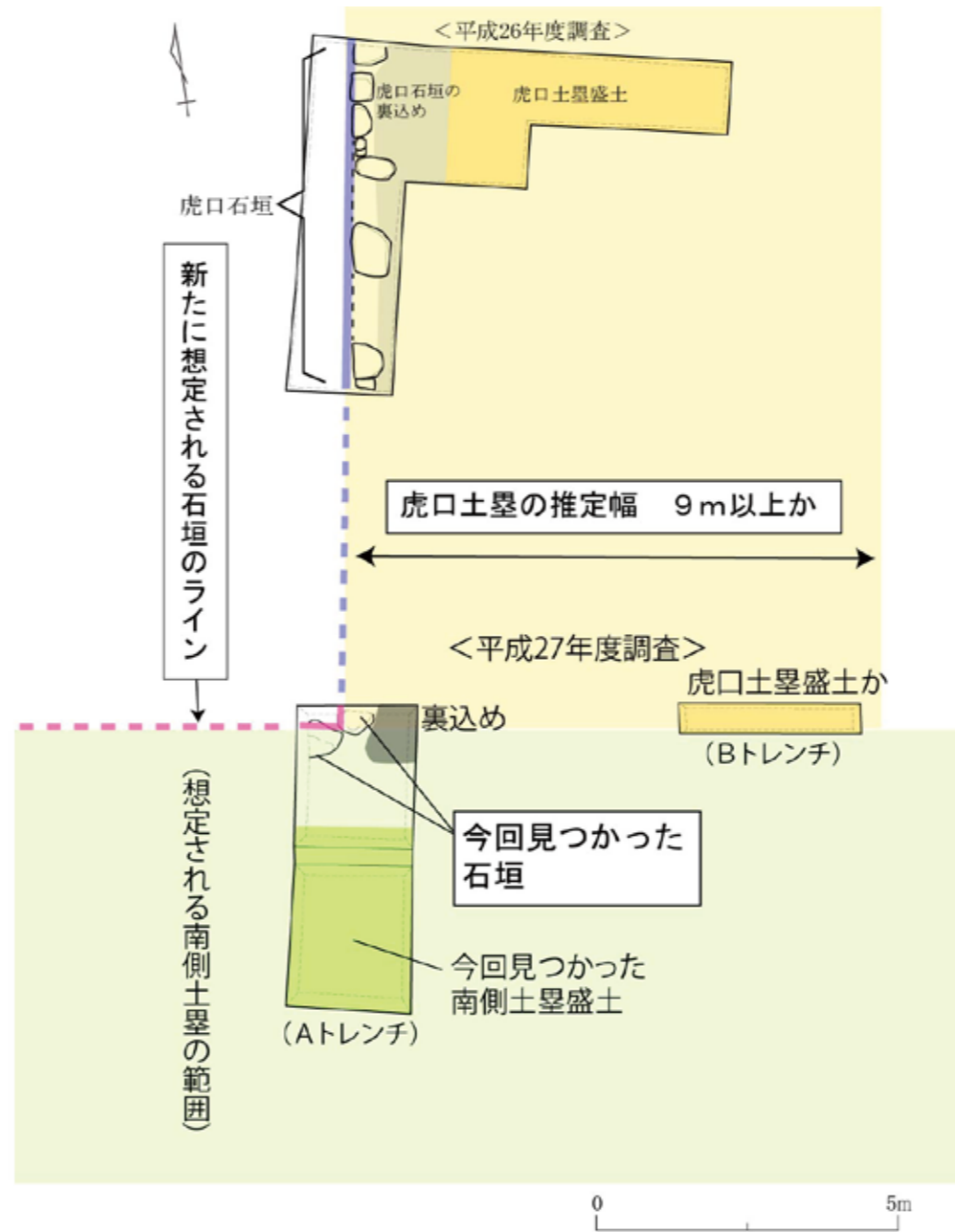


図1 調査の位置と虎口・土塁想定範囲

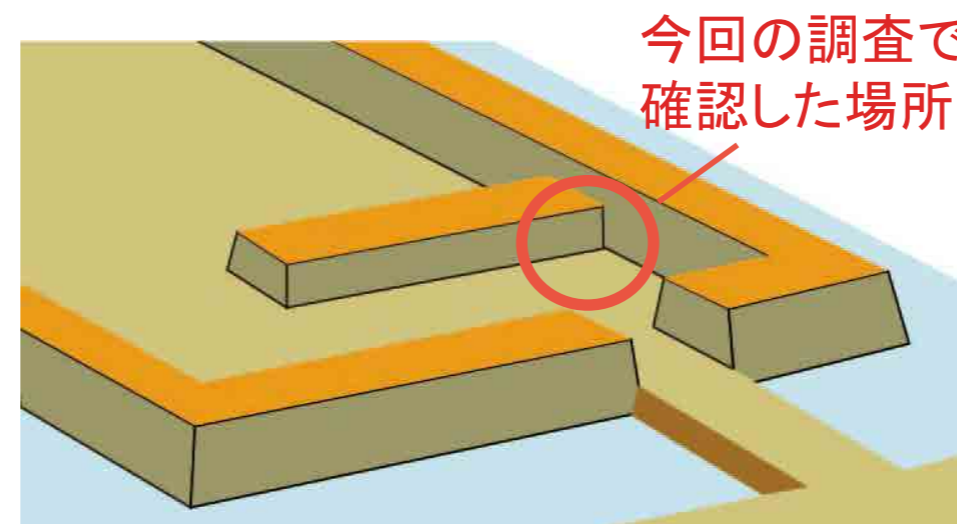


図3 虎口復元図

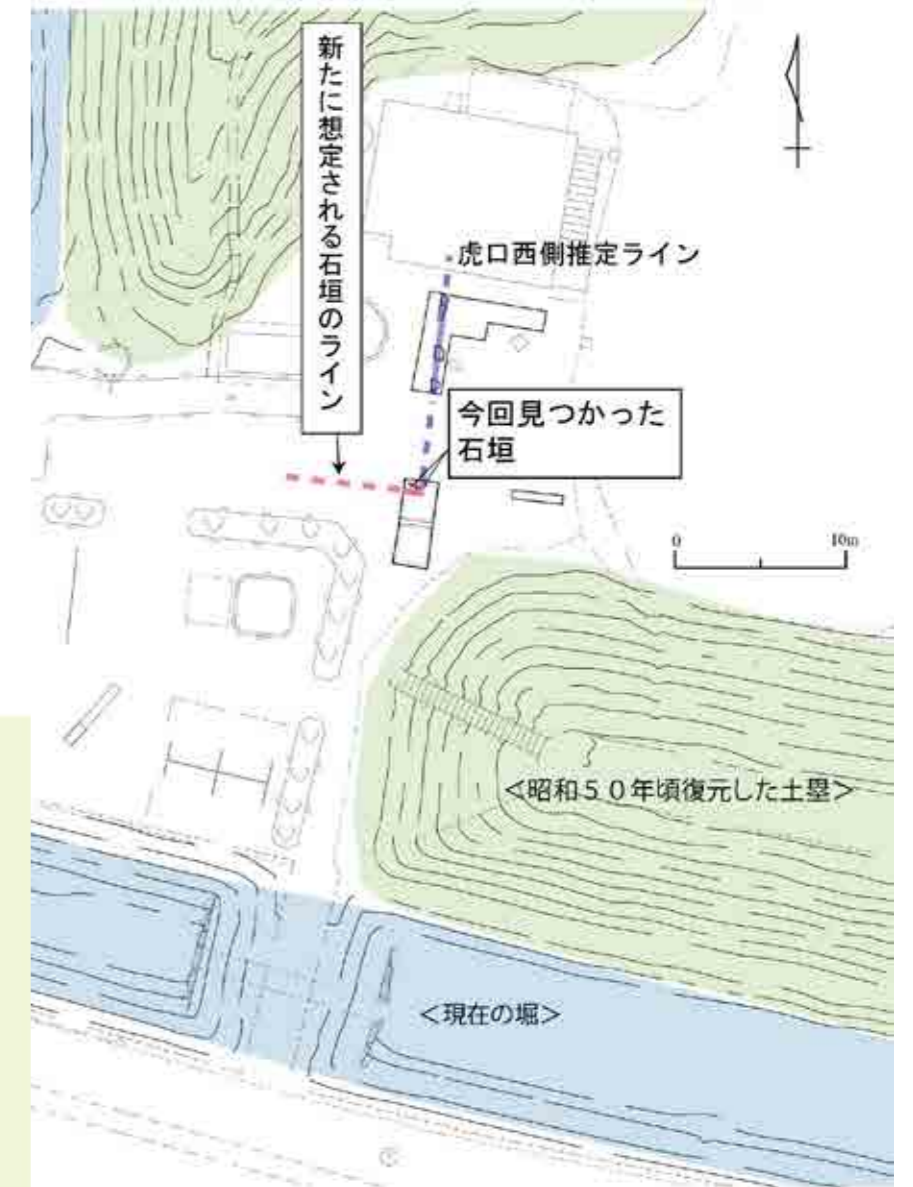
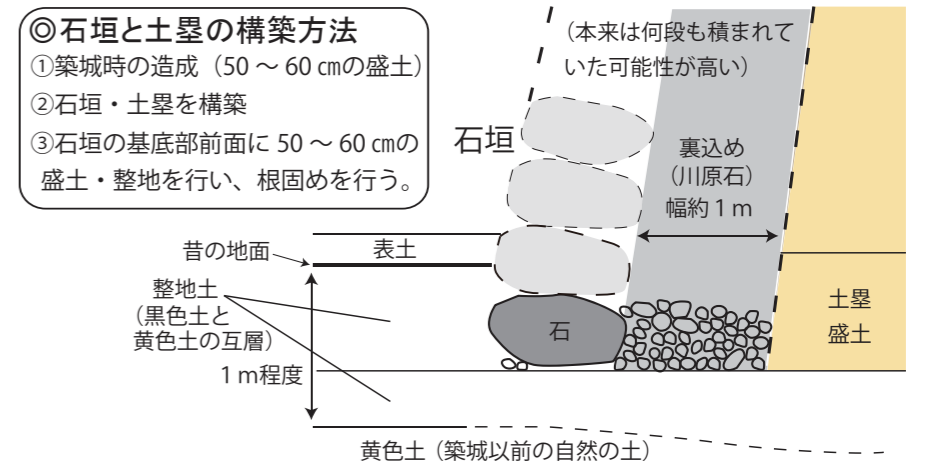


図2 調査位置と周辺環境



<参考資料> 石垣・土塁断面模式図

※平成26年度調査で確認した石垣を基にして作成しました。本年度調査では、石垣最下段の石材と裏込め石の一部のみ確認しました。